

まちの話題



おいしい給食を子どもたちに



上多度小学校1年生



養老小学校6年生

物価が高騰している状況の中、保護者の給食費負担を少しでも軽減するために、町では国の交付金を活用して、町内小中学校の給食のデザート費を補助する取り組みを始めました。また、この取り組みには、子どもたちがおいしい給食を食べて笑顔でいられるようにという願いも込められています。

7月6日(水)の給食には、七夕特別メニューが提供され、甘くて冷たい七夕ゼリーを食べた子ども達はみんな笑顔になっていました。子どもたちの笑顔のためにこれからもおいしい給食を提供していきます。

自分たちで育て、食べる



6月13日(月)に養北こども園の園児と養北小学校の2年生の児童がさつまいもの苗植えの体験学習をしました。子どもたちはコミュニティ・スクールのサポーターに教わりながら、たくさん収穫できるようにと願いを込めて、ひとつひとつ丁寧に苗を植えました。焼きいもにして食べることを今から楽しみにし、すくすくと育つように苗に話しかけながら水やりをしていました。

養北小学校ではさつまいもや大豆などを自分たちで育て、食べることによって食や自然に対する理解を深めています。

住民と共同で活動し、活性化を



6月30日(木)に大跡地域環境保全組合が大橋孝町長へ優良活動表彰受賞の報告をしました。本表彰は、農地や農業用水、農地施設などの資源を将来にわたって良好に保全管理し、農村環境の保全向上を図る活動に取り組むだけでなく、地域住民と一体となり、共同活動によって地域全体の活性化を図るなど、同組合の“他の模範となる優良な活動”の功績が讃えられ贈られました。

地域の食と農をつなぐ



6月27日(月)に町と西美濃農業協同組合(大垣市)は「地域の食と農をつなぐ地産地消に関する協定」を締結しました。この協定は、地域農産物の活用やPR活動などについて互いに連携し、協力することで、地域の食と農をつなぐ地産地消の促進を図ることを目的としたものです。これまで、同組合とは町内の小中学校において田植えや稲刈りなどの農業体験学習を共同で実施するなど、地域の食農教育について取り組んできました。

今回の協定により、これまで以上に連携を深め、食農教育をはじめとした次代に繋がる農業の振興をより一層推進していきます。